

27. 墮落論

接待で酒や異性の誘惑にさらされる。接待というより虐待。

「生めよ、殖えよ、地に満ちよ」の三大祝福があったが、なぜサタンに主管されてしまったのか。個人→家庭→民族→世界と天国を広げないといけない。

墮落に関して、罪があると天国に入れない。罪の荷物が天国の門で引っかかってしまうから。聖フランチェスコ教会の司祭は、禁断の果実の話は神様の奥義で人間が知ってはいけないことだと言われた。だからRがはっきり教えてくれていることがすごいことである。服の汚れや身だしなみの乱れは分かるが靈魂の汚れはよく分からない。

墮落が起こってから、悲しみのあまり 1600 年神様は現れなかった。墮落とは何か。オレンジやカエルで野球をやるみたいに、本来の創造目的を果たさないこと。

創世記 3 : 1~7

へびは本当に食べてはいけないと言ったのかと、何回も誘惑した。

<命の木について>

創世記 2 : 9、17

命の木、善悪を知る木の実を食べてはならない。

→神様が唯一人間に与えた法

箴言 3 : 18 命の木=知恵

箴言 11 : 30 正しいものが結ぶ実

箴言 13 : 12 願い

箴言 15 : 4 やさしい舌

木は人間を表すからそのような性質を持つ人は誰か？新約ではイエスである。エデンの園でのそのような人は誰か？

コリント人への第一の手紙 15 : 45

最後のアダム=イエス 最初のアダム=アダム

なぜイエスを最後のアダムといったかといえば、使命が同じだから。アダムから人間の宗教の歴史を始めようとした。

バプテスマのヨハネもエリヤと言われた。この時代には再臨主がアダム。

結果を見たら過程がわかる。

創世記 2 : 25

恥ずかしくていちじくの葉を腰に巻いた。

創世記 3 : 16

姦淫をした。口で食べたなら口を隠す。

当時アダムは 16 歳、エバは 14 歳だった。霊肉共に成長しきっていなかった。

順番を間違えてしまった。神様はもっと良くなるためにとって食べるなという法を与えた。

もうそろそろというところでサタンが狙う。サタンが人間を誘惑したのは、疎外感から。人間が墮落したのは絶対に愛することができなかったから。今まで学生の群れの中で生活してきたから大丈夫だったかもしれないが、社会では個人信仰が必要。愛で失敗したから愛で返していかないといけない。ソロモンの祭壇の器もバビロンで墮落に使われた。